



「アジアに強いしがぎん」、 お取引先の海外進出を力強くサポートします。

お取引先の東南アジアを中心とする海外への進出が加速しています。当行は、海外進出がお取引先の一層の事業発展、更には地域経済の活性化につながるものと考え、今後ともお取引先の海外展開をサポートしてまいります。

業務提携・協力銀行等

(平成25年6月末現在)

銀行名等	提携・協力時期
タイ国投資委員会(タイ)	平成25年 6月
インドステイト銀行(インド)	平成25年 2月
バンクネガラインドネシア(インドネシア)	平成24年 9月
バンコック銀行(タイ)	平成20年11月
カシコン銀行(タイ)	平成20年11月
中国銀行(中国)	平成15年 6月
中国工商銀行(中国)	平成14年11月

1 BANGKOK



2 HONG KONG



- 1 慢性的な交通渋滞がおこるバンコクでは、三輪タクシーの「トゥクトゥク」が活躍
- 2 世界中から「ヒト・モノ・カネ」が集まる香港
- 3 超高層ビルが立ち並ぶ、眠らない街・上海

3 SHANGHAI



ASIA NETWORK



インドネシア・インドの銀行と相次いで提携

バンクネガラインドネシア（本店：インドネシア・ジャカルタ市）と平成24年9月6日、業務提携を結びました。インドネシアはGDP成長率6.2%（2012年）と経済成長著しく、ASEANでは最大の人口を有しています。マーケットの潜在的な需要は旺盛で、日本企業の進出ニーズが高いことから、同行と業務提携を行ったものです。



調印を行うバンクネガラインドネシア・
フィルマン国際部長（左）と藤居国際部長

また、**インドステイト銀行**（本店：インド・ムンバイ市）と平成25年2月7日に提携関係を結びました。人口世界2位のインドは、近年の高い経済成長と中間層の拡大を背景に、生産拠点としてのみならず、販売拠点としても注目を集めています。

今回の提携により、インドネシアやインドに進出されている、あるいは今後進出を計画されているお取引先への現地情報の提供や進出サポートが可能となります。

「日銀ファンド（米ドル特則）」取扱開始

当行は、平成24年11月27日、日本銀行が行う「**成長基盤強化を支援するための資金供給（米ドル特則）**」に参加し、12月7日に第一回目の資金供給を受けました。

本制度への参加は、経済の成長基盤強化に向けた取り組みを行うお取引先への米ドル建融資を行うことが目的です。

これからも本制度を活用した外貨建て融資の取り組みを通じ、お取引先の外貨資金ニーズにお応えてまいります。

ミャンマー官僚、本店営業部を視察

ミャンマーの官僚や中央銀行の幹部らが平成25年2月12日、当行本店営業部に来訪されました。来訪の目的は、民主化の進むミャンマーには無い地域金融機関での業務研修で、当行の中小企業に対する経営支援や産学官との連携、環境金融に対する取り組みなどを視察されました。



窓口の視察で熱心に質問をされるミャンマーの
官僚や中央銀行幹部の皆さん

当行では今回の来訪を機に、「アジア最後のフロンティア」として注目を集めるミャンマーの行政機関と連携を図り、お取引先への情報提供に努めてまいります。

そのほか平成25年2月6日・7日には、タイ国投資委員会（BOI）の来日に合わせ、同委員会と「タイ投資セミナー」を滋賀、京都の3会場で共催しました。

当行では、海外展開されるお取引先に役立つセミナーを引続き開催してまいります。



タイの投資奨励政策やビジネス機会などに関する
講演が行われた